**第３学年１組　国語科学習指導案（略案）**

1　**単元名・教材名**　言葉について考えよう

2　**本時の学習指導**　（本時2/2時）

（１）目標

　　○「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」という分類を意識して文を作り、友だちと比べて、表現の効果を考えることができる。（伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項）

（２）評価基準

　　○他の人の文と自分の文を比べ、共通点や違いを見つけようとしている。（関心・意欲・態度）

　　○言葉の性質に着目して、文を書き、よりよい表現に書き直している。（書くこと）

○言葉の性質に着目し、言葉の効果を理解している。（伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項）

（３）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学習活動** | **学習内容** | **指導と評価の創意工夫** | **時間** |
| 1　本時の学習活動をつかむ。2　p71の例を見て、想起する単語を挙げ、分類する。＜予想される児童の反応＞「ろうそく」「黄色い」「光る」「燃える」「熱い」「明るい」「火」「赤い」3　分類した言葉を用いて文を作る。＜予想される児童の反応＞・ろうそくが燃えている。・ろうそくが明るくきれいに燃えている。・ろうそくが熱く、燃えている。・ろうそくが光っている。・ろうそくが明るく輝いている。４　下の二つの絵をもとに文を作る。＜予想される児童の反応＞・女の子がピンクの服を着ている。・雪が降っている。・女の子が歩いている。・黄色いちょうちょうが飛んでいる。・ちょうちょうが花に止まっている。・ちょうちょうが3匹いる。5　グループで比較して、気づいたことを発表する。＜予想される児童の反応＞・私は、明るいと感じたが、○○さんの文からは、熱い様子が感じられました。・わたしは、「明るい」を修飾語として使ったけれど、○○さんは文の最後に置いて、述語として使っていました。・○○くんは、ちょうちょうという物と事を表す言葉を使っていました。・私は、雪という言葉を使ったが、○○さんはピンクの洋服という言葉を使っていました。6　本時のまとめを行う。 | ・本時の学習課題言葉にはどんな効果があるのだろう？・言葉の分類の仕方・分類した言葉からの文の作成の仕方・絵から読みとれる文の作成の仕方・作成した文のグループでの比較の仕方・本時のまとめ | ○前時の振り返りをし、本時では自分で文を作ることを伝え、学習に意欲的に取り組めるようにする。○児童の発言を用いて、単語を出した後に、分類を行うことで、それぞれの特徴を意識してから、文を作ることへ取り組めるようにする。○分類した言葉を用いて例文を作ることにより、児童がイメージできるようにする。○机間指導をすることで、行き詰っている児童へ助言をする。○例をいくつか出すことにより、同じ物も様々な言葉で表現できることを理解できるようにする。○絵を見てどのような言葉が思いつくか考えてから文を作成するよう促すことで、分類を意識しながら分を作成できるようにする。○作成した文を発表してもらい、どんな言葉を用いているか共有することにより、話し合いで言葉の効果について考えられるようにする。

|  |
| --- |
| ○言葉の性質に着目して、文を作成している。（ノートによる考察）○「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」を意識しながら、文を作成している姿がある。（ノートによる考察） |

○「どんな言葉を選んだか」「言葉をどのように使っているか」「できた文からどのような印象を受けるか」という観点を示すことで、言葉の効果を意識して話し合いができるようにする。○それぞれのグループに一人ずつグループで話し合ったことを聞くことで、どのように比較しあったのか全体で共有できるようにする。

|  |
| --- |
| ○友達の文と自分の文を比べ、共通点や相違点から言葉の効果を考えている。（話し合いによる効果）○言葉の性質に着目し、言葉の効果を理解している。（話し合いによる考察） |

○本時の振り返りを行い、時次の予告をする。 | 5’5’10’10’12’3’ |

3　備考　在籍児童数　35名

4　板書計画

　　　言葉を分類する

　言葉にはどんな効果があるのだろう。

○動きを表す言葉

　燃える　光る

○様子を表す言葉

　美しい　黄色い　赤い

○物や事を表す言葉

　ろうそく

明るい　燃える　美しい

黄色い　ろうそく　赤い　光る

○文を作ってみよう

　れい

　美しいろうそくが燃えている

　ろうそくが赤く、美しい

○二枚の絵を見て、文を作ってみよう